

決算審査 ピックアップ

委員会での
審査の概要を
お伝えします。

4年度繰越金

次年度への対応は

問 4年度の繰越金が5億7千万ほどあるがその要因は。
財政課 歳出の減より歳入の減のほうが少なかったことが要因。歳出については、適正な執行ができた。
問 その年度にいたっていた税金などはその年度に住民の利益となるように使ったほうがよいのでは。住民が何かを要望しても「お金が

ないので待ってください」という回答が多いが、今後このような進め方とするのか。
財政課 町税等が増え、歳入が増となった部分について、補正対応で各事業に配分していきたい。
町長 重要な指摘である。お金がないということがないように、指摘を取り入れて予算編成をしていきたい。

家賃低廉化国庫補助金

補助期間後の家賃に影響は

問 災害公営住宅家賃低廉化事業国庫補助金を使って、入居されている方々は低廉な家賃で暮らすことができています。この補助金はずっと続くのか。
都市計画課 災害公営住宅を建設する際、用地取得していない場合は10年、している場合は20年となっている。
問 10年、20年それぞれどうなるのか。
都市計画課 災害公営住宅については、入居者の負担を軽減していることから、通常の公営住宅よりも家賃収入が少なくなる。その分の補てんという意味合いの補助金であるので、補助期間に関わらず、家賃に影響はない。



8年目の災害公営住宅が2団地あります

デマンドタクシー

高齢者等の足の確保を



デマンドタクシーとは、自宅付近の決められた場所から指定停留所まで利用者同士が乗り合って利用する予約式乗合タクシーです。

問 デマンドタクシーの利用状況は。
政策企画課 コミバスの利用者の少ない豊間根地区において、運行の効率化と高齢者等の利便性の向上を図る目的で導入したものの、実績は、導入した5年3月から9月末までの期間で、運行日数が48日、利用者が174名であった。
問 利用者の声はどうだったか。
政策企画課 運行期間中に特段アンケートなどは行っていないが、現在進めている地域公共交通形成計画策定の中で、アンケート調査や住民懇談会を実施する予定としている。利用者の声を吸い上げ、よりよい運行につなげていきたい。